



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 ユアサ・フナシヨク株式会社

上場取引所 東

コード番号 8006 URL <http://www.yuasa-funashoku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 諸澤 隆芳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 黒坂 幸夫

TEL 047-433-1212

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	82,462	0.5	1,424	10.2	1,636	11.6	1,051	43.5
25年3月期第3四半期	82,055	△2.1	1,293	15.1	1,465	13.9	732	23.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,220百万円 (41.7%) 25年3月期第3四半期 861百万円 (18.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	23.15	—
25年3月期第3四半期	15.93	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	50,337	24,847	48.6	543.62
25年3月期	47,962	24,232	49.7	518.44

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 24,452百万円 25年3月期 23,844百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	107,500	0.9	1,900	10.2	2,000	2.9	1,100	10.7	24.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	48,977,231 株	25年3月期	48,977,231 株
26年3月期3Q	3,997,119 株	25年3月期	2,984,546 株
26年3月期3Q	45,412,967 株	25年3月期3Q	45,997,515 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。  
当社は、第3四半期連結累計期間に1,000,000株の自己株式の取得を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該自己株式取得後の発行済株式数(自己株式を除く)により算定しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
5. 補足情報 .....	11
(1) 販売の状況 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、経済・金融政策の効果から、円安や株価の回復、個人消費に持ち直しの動きが見られるなど緩やかに回復が続きました。

食品流通業界におきましては、消費マインドが高級品を中心に改善するなかで、日常消費する食品については、依然として節約・低価格志向が続きました。また、PB（プライベートブランド）商品の台頭、大型商業施設などの新規出店と相まって企業間競争は一段と厳しさを増しました。

ビジネスホテル業界におきましては、景気の回復、円安を背景に、訪日外国人客が増加しましたが、近隣地域における競争は厳しい状況が続きました。

このような状況の中で当社グループは、首都圏を基盤に地域に密着した営業を展開してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高824億62百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益14億24百万円（前年同期比10.2%増）、経常利益16億36百万円（前年同期比11.6%増）、四半期純利益は10億51百万円（前年同期比43.5%増）となりました。

## 事業別セグメントの概況

## ① 商事部門

商事部門におきましては、円安による原材料価格の上昇を背景に、メーカーによる価格改定が行われるなか、販売競争は更に厳しい状況が続きました。

このような中で、販売先ニーズを捉えた商品供給を的確に行うとともに、新規取引の開拓に努めてまいりました。

部門別の売上高は、食品では冷凍・チルド商品、酒類は増収となりましたが、加工食品、菓子、砂糖が減収となりました。業務用商品では小麦粉は販売価格が低下しましたが販売数量が増加し増収となりました。油脂は販売数量が減少しましたが、販売価格の上昇により増収となりました。飼料畜産では飼料は販売数量が増加したことに加え、価格高騰により増収となりました。畜産は成豚の取り扱い数量の増加、食肉価格が高値で推移したことにより増収となりました。米穀では玄米、業務用精米の販売数量は増加しましたが、米価格が安値に推移したことに加え、家庭用精米の販売が低調に推移し減収となりました。

その結果、商事部門全体の売上高は791億14百万円（前年同期比0.4%増）、営業利益は10億42百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

## ② ホテル部門

ホテル部門におきましては、景気の回復基調を背景に、一般の利用客が順調に推移しました。また、スポーツ大会の開催に伴う団体客の利用が増加しました。

その結果、売上高は28億1百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は4億73百万円（前年同期比41.9%増）となりました。

## ③ 不動産部門

不動産部門につきましては、賃貸料収入として売上高は5億45百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は4億72百万円（前年同期比3.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億74百万円増加し503億37百万円となりました。その内容は、流動資産の増加26億14百万円、固定資産の減少2億39百万円で、主な要因は現金及び預金の増加8億14百万円、受取手形及び売掛金の増加15億63百万円などによるものです。

負債は、17億59百万円増加し254億90百万円となりました。その内容は、流動負債の増加20億87百万円、固定負債の減少3億28百万円で、主な要因は支払手形及び買掛金の増加23億29百万円、長期借入金の減少3億25百万円などによるものです。

純資産は、6億15百万円増加し248億47百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加6億83百万円、自己株式の取得による減少2億36百万円などによるものです。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは18億58百万円（前年同期比2億7百万円減）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益17億32百万円、売上債権の増減額△15億61百万円、仕入債務の増減額23億29百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは70百万円（前年同期比6億14百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出△2億77百万円、投資有価証券の売却による収入1億99百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは△11億13百万円（前年同期比8億3百万円減）となりました。これは主に短期借入金の純増減額△2億83百万円、自己株式の取得による支出△2億36百万円、配当金の支払額△3億67百万円などによるものです。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物四半期末残高は前連結会計年度末から8億19百万円増加し45億67百万円（前年同期比3億96百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,868	4,683
受取手形及び売掛金	13,620	15,184
有価証券	0	0
商品及び製品	1,345	1,720
仕掛品	26	46
原材料及び貯蔵品	830	448
繰延税金資産	131	81
未収入金	2,595	2,864
その他	66	71
貸倒引当金	△47	△49
流動資産合計	22,437	25,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,022	13,609
減価償却累計額	△9,317	△9,178
建物及び構築物（純額）	4,704	4,431
機械装置及び運搬具	1,880	1,928
減価償却累計額	△1,620	△1,667
機械装置及び運搬具（純額）	260	261
土地	10,546	10,529
その他	1,524	1,581
減価償却累計額	△1,189	△1,214
その他（純額）	335	367
有形固定資産合計	15,846	15,589
無形固定資産		
ソフトウェア	92	86
その他	149	142
無形固定資産合計	242	229
投資その他の資産		
投資有価証券	6,384	6,445
長期貸付金	425	403
繰延税金資産	76	33
差入保証金	2,524	2,540
その他	284	350
貸倒引当金	△259	△307
投資その他の資産合計	9,436	9,466
固定資産合計	25,525	25,285
資産合計	47,962	50,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,297	17,626
短期借入金	4,235	4,177
未払法人税等	330	337
賞与引当金	89	26
その他	1,755	1,627
流動負債合計	21,708	23,796
固定負債		
社債	15	10
長期借入金	587	262
退職給付引当金	653	606
役員退職慰労引当金	24	19
負ののれん	4	1
長期未払金	171	171
その他	565	622
固定負債合計	2,022	1,693
負債合計	23,730	25,490
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,599	5,599
資本剰余金	5,576	5,576
利益剰余金	12,427	13,110
自己株式	△625	△861
株主資本合計	22,977	23,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	866	1,027
その他の包括利益累計額合計	866	1,027
少数株主持分	387	395
純資産合計	24,232	24,847
負債純資産合計	47,962	50,337



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	82,055	82,462
売上原価	73,974	74,145
売上総利益	8,081	8,316
販売費及び一般管理費	6,788	6,891
営業利益	1,293	1,424
営業外収益		
受取利息	20	20
受取配当金	106	126
デリバティブ評価益	14	14
その他	89	103
営業外収益合計	229	264
営業外費用		
支払利息	40	37
為替差損	4	—
その他	12	16
営業外費用合計	57	53
経常利益	1,465	1,636
特別利益		
投資有価証券売却益	0	18
固定資産売却益	—	85
資産撤去費用見積改定額	48	—
特別利益合計	48	103
特別損失		
固定資産処分損	13	5
減損損失	19	1
投資有価証券評価損	43	—
特別損失合計	77	7
税金等調整前四半期純利益	1,437	1,732
法人税、住民税及び事業税	432	618
法人税等調整額	254	54
法人税等合計	687	672
少数株主損益調整前四半期純利益	750	1,060
少数株主利益	17	8
四半期純利益	732	1,051

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	750	1,060
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	160
その他の包括利益合計	110	160
四半期包括利益	861	1,220
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	843	1,211
少数株主に係る四半期包括利益	17	8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,437	1,732
減価償却費	375	425
減損損失	19	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△67	△62
退職給付引当金の増減額(△は減少)	17	△46
長期未払金の増減額(△は減少)	△14	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	50
災害修繕引当金の増減額(△は減少)	△6	—
受取利息及び受取配当金	△126	△147
支払利息	40	37
投資有価証券評価損益(△は益)	43	—
有形固定資産除売却損益(△は益)	13	△79
売上債権の増減額(△は増加)	△1,592	△1,561
たな卸資産の増減額(△は増加)	△355	△14
その他の資産の増減額(△は増加)	△282	△366
仕入債務の増減額(△は減少)	2,994	2,329
その他の負債の増減額(△は減少)	△23	56
その他	73	4
小計	2,525	2,354
利息及び配当金の受取額	127	146
利息の支払額	△40	△37
法人税等の支払額	△547	△605
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,065	1,858
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△413	△277
有形固定資産の売却による収入	21	143
有形固定資産の除却による支出	△2	△2
投資有価証券の取得による支出	△183	△3
投資有価証券の売却による収入	0	199
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	23	—
貸付金の回収による収入	19	21
その他	△10	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△544	70
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	105	△283
長期借入れによる収入	300	300
長期借入金の返済による支出	△229	△400
自己株式の取得による支出	△0	△236
配当金の支払額	△367	△367
その他	△117	△126
財務活動によるキャッシュ・フロー	△310	△1,113
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,205	819
現金及び現金同等物の期首残高	2,965	3,748
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,171	4,567

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,000,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が236百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が861百万円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第3半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	78,827	2,660	567	82,055	—	82,055
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13	—	33	46	(46)	—
計	78,840	2,660	600	82,102	(46)	82,055
セグメント利益	1,073	334	457	1,864	(571)	1,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△571百万円には、のれん償却額△7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△568百万円、その他4百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	商事部門	ホテル部門	不動産部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	79,114	2,801	545	82,462	—	82,462
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	27	—	42	69	(69)	—
計	79,142	2,801	587	82,531	(69)	82,462
セグメント利益	1,042	473	472	1,988	(563)	1,424

(注) 1. セグメント利益の調整額△563百万円には、のれん償却額△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△560百万円、その他3百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・人事・経理・情報システム部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

5. 補足情報

(1) 販売の状況

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで)	当第3四半期連結累計期間 (平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで)	前年同期比
食品（酒類・飲料含む）	52,464	50,841	96.9
業務用商品	11,189	11,938	106.7
米穀	7,064	6,590	93.3
飼料・畜産	8,108	9,745	120.2
商事部門計	78,827	79,114	100.4
ホテル部門	2,660	2,801	105.3
不動産部門	567	545	96.2
合計	82,055	82,462	100.5